

6月26日（月）

9：00～11：20

専門委員会 広報委員会

全体進行役 全日本青少年育成アドバイザー連合会 理事

広報委員長 峠 テル子（愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会会長）

広報委員会事務担当 清水成真

○目的（課題）

- ・全日本・各地区ブロック・各都道府県との事務局間連絡網の確立と力強い組織づくり
- ・広報活動、啓蒙グッズの活用
- ・HP 活用やアド連だより発刊（年3回 8月12月4月基本発刊）
- ・その他

○検討事項

- ・スムーズな情報発信と情報収集 本部～地区ブロック（県）～市町村アドバイザー会員
- ・各地におけるアドバイザー活動広報
- ・全国の活動事例収集と情報共有

○協議成果（決定事項）

- ・登り（立旗）やアドバイザーバッジ、ありがとう一日100回運動シール等は、各県アド協議会でまとめて谷本事務局長（清水広報委員会事務）に各県会長名で随時、申込注文する。「ありがとう一日100回運動」関係グッズは推進趣旨を再度会員に伝えて活動実践するようにする。→各地区Event等でのアド連の活動広報を広く周知し、啓蒙をする中で、実践する仲間づくり環境作りを強化する。
- ・HPは、岐阜県、鳥取県、全国アド連しかなく、まずは全国アド連HPを活用する。HPがある県は連携団体諸機関とのリンクを進め、相互間の連帯を図る。→地域での役割や全国的な活動につながる
- ・各ブロック県、個人会員の活動では広報、啓蒙は名刺が伝える手段の一つである。各自主な活動の立ち場もあるが、アドバイザー活動をできるだけ上部に持ってくるよう努めて頂く。
- ・各地区ブロック（県市）の活動事例を県会長（広報委員）より、早急に全日本アド連事務局（広報委員）へ上げてもらい、事例として全日本アド連HPで紹介してゆき、ある程度ストックされた時点で、事例集作成する。

○今後の検討課題

- ・アドバイザーとは？

→名刺やアド連だよりに加え、分かりやすい「リーフレット（チラシ）」を作成して、今後の活動を更に強めてゆく

以上、愛知県 峠会長より指示を受けて、メモ程度の記録ですがお送りします。

ご査収のほど宜しく願い申し上げます。思い込みで間違いある場合は、加筆や修正校正お願い申し上げます。

メモ 愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会 理事
豊田市青少年育成アドバイザー会所属 村野政章